



本器はイーサネットとLONWORKS（リアルリンクネットワーク）をつなぐユニットです。イーサネットに接続したパソコンからLONWORKS（リアルリンクネットワーク）に接続されたモジュールのデータが収集できます。また、オプションで内蔵メモリにデータを蓄積できますので、必要なときに上位のパソコンからイーサネット経由でアクセスしデータを吸い上げることができます。

用途

- 10BASE-T、TCP/IP、UDP/IPに対応
- 最大2MBの蓄積メモリを実装可能
- 据え置きと壁面取り付け（専用取付金具用意）が可能

形式

WGW-LGL-T-00

シ リ ズ	タ イ プ	ト ラ ン シ ー バ	蓄 積 メ モ リ	電 源	付 番	内 容
WGW						ゲートウェイ
	LGL					イーサネット/LON
		T				TP/XF-78
			0			蓄積メモリなし
			2			2Mバイト
				1		AC100V ± 10% 50/60Hz
				2		AC200V ± 10% 50/60Hz
				4		AC110V ± 10% 50/60Hz
				5		AC220V ± 10% 50/60Hz
					00	標準

仕様

LON通信仕様

通信方式 LonTalk（ロントーク）プロトコル
 トランシーバ TP/XF-78
 伝送路形態 マルチドロップ接続
 伝送距離 標準2km（ケーブル総延長）、リピータ使用時4km
 伝送速度 78kbps
 伝送方式 ボーリングセレクトイング
 伝送路 22AWG相当
 昭和電線デバイステクノロジー LW221
 フジクラ F-LINK-L (1F)
 富士電線 ICT 0.65mm × 1P
 終端抵抗 100Ω 1/4W ネットワークの終端に取付け
 （標準添付） 本器のLON端子に直接取付け

基本仕様

接続 RS-232C：D-sub コネクタ 9ピン
 イーサネット：RJ45 コネクタ
 メモリー 2Mバイト（オプション）
 バックアップ 内蔵バッテリーで約10年間
 電源電圧 AC100/110/200/220V ± 10%（50/60Hz）
 消費電力 約8VA
 アイソレーション LON - LAN - RS-232C - 電源各端子間相互絶縁
 絶縁抵抗 LON - RS-232C - 電源、LON - LAN - 電源各端子間相互
 DC500Vメガオーム 100MΩ以上
 LAN - RS-232C端子間 DC500Vメガオーム 50MΩ以上
 耐電圧 LON、LAN、RS-232C - 電源端子間 AC1500V 1分間
 LON - LAN - RS-232C各端子間相互 AC1000V 1分間
 使用温度範囲 0 ~ + 50°C
 使用湿度範囲 90%RH以下（非結露、非氷結にて）
 外形寸法 200(W) × 55(H) × 136(D)mm
 重量 約2kg
 取り付け 据え置きまたは壁取り付け（専用金具で）
 外形図 IF-3ページ

LAN通信仕様

規格 IEEE802.3 イーサネット 10BASE-T
 コネクタ RJ-45（10BASE-T）
 プロトコル TCP/IP、UDP、ARP、ICMP
 ソケットサーバー LAN - RS-232C間のデータをスルーでパケット送受信
 TCP/IP、ポートNo.16140、1セッション
 Telnetサーバー 機能 本器の初期設定、1セッション
 UDPサーバー UDP/IP ポートNo.16141、16142
 接続ハブ **10M/100M**スイッチングハブを使用して下さい
 （パソコンに直接接続する場合必要ありません）
 スwitchングハブとイーサネットゲートウェイ間には必ずブロードバンドルータを設置してください。
 （推奨品：センチュリーシステムズ社 FutureNet XR-410/TX2）

RS-232C通信仕様

RS-232Cケーブル D-sub 9ピン（両端メス）
 PC接続時：クロスケーブル
 モデム接続時：ストレートケーブル
 インターフェース 非同期シリアル通信
 通信方式 半二重
 通信同期方式 調歩同期式（スタートビット=1、ストップビット=1）
 通信速度 1200/2400/4800/9600/14400/19200/38400/57600bps
 キャラクタ長 8ビット
 パリティ あり/なし
 XON/XOFFフロー制御 なし
 誤り検出 チェックサム検出あり/なし
 プロトコル ボーリングセレクトイング方式
 受信タイムアウト あり

蓄積/収集仕様

蓄積チャンネル数 1/2/4/8/16/32/64/128/256チャンネル
 蓄積件数 蓄積チャンネル数により変わります
 （詳細次ページ）
 蓄積時間 インターバル 1/5/10/30/60/120/240分
 または時刻指定（1日1回任意の時刻）
 蓄積オーバーフロー 上書きまたは停止
 パソコンへの収集 時間を指定し1日1回自動収集。
 LAN経由とモデム接続に対応
 設定 蓄積設定ツール（WRS-PMS）を使用
 RS-232CまたはLANに接続したパソコン経由

付属品

付属品
ゴム足 据え置き用ゴム足4個

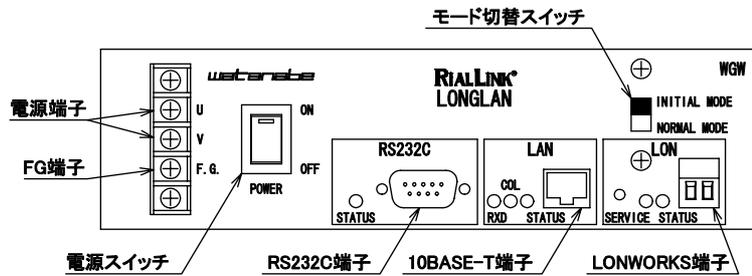
別売付属品
壁面取付金具 WGW-BKT 2個

設定

本体設定 IPアドレス LAN経由 (TELNET)
サブネットマスク LAN経由 (TELNET)
モジュール登録 モジュール登録ツールを使用

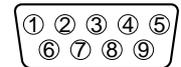
機器各部の説明

WGW-LGL



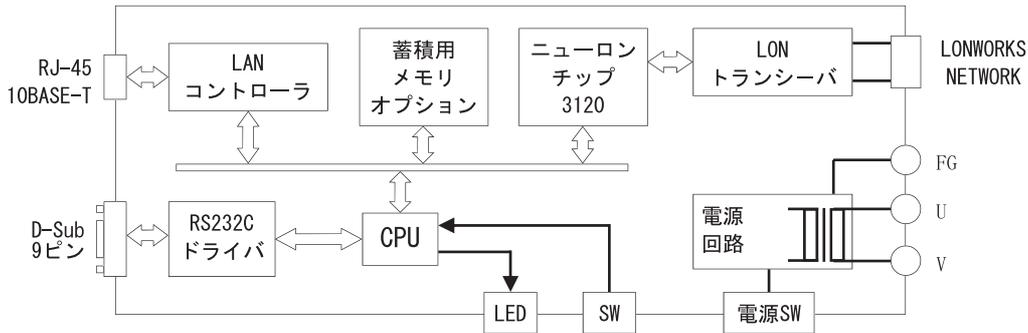
RS-232C 端子配列

No.	信号	No.	信号
①	DCD	⑥	DSR
②	RXD	⑦	RTS
③	TXD	⑧	CTS
④	DTR	⑨	-
⑤	GND		



回路ブロック図

WGW-LGL

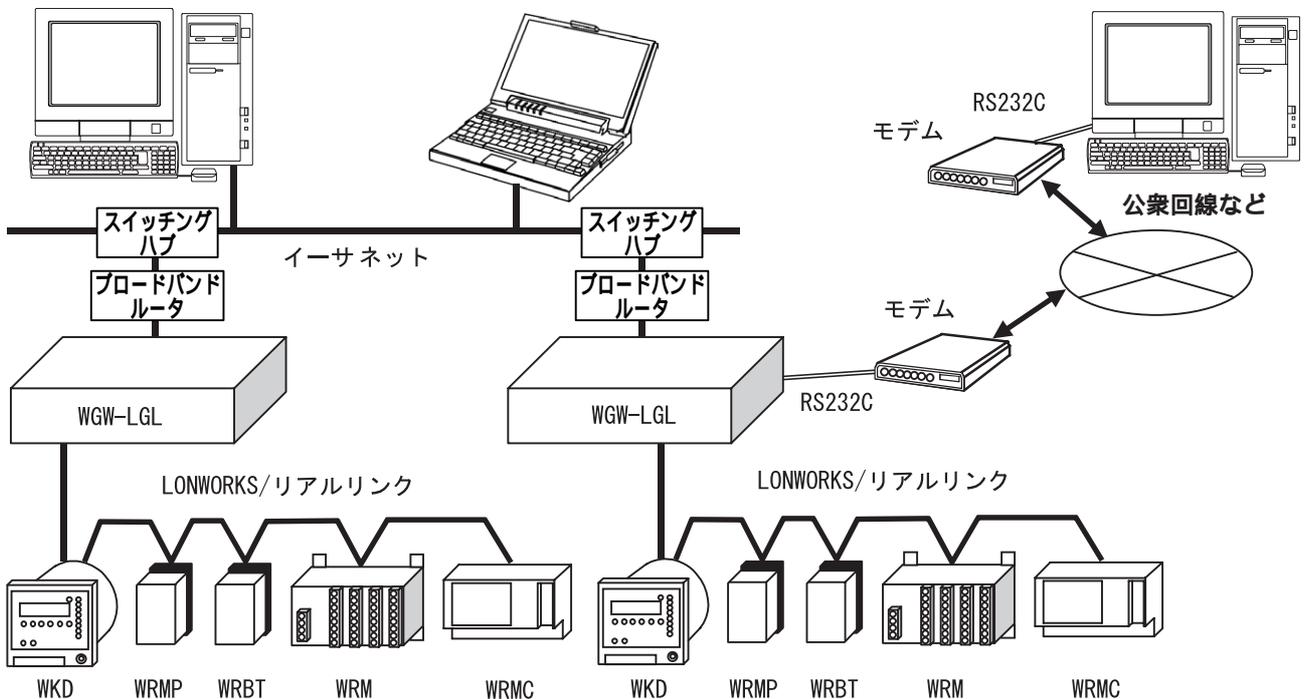


接続例

- 日報月報ソフト (WRS-REPO-CS/LAN) (サーバー用/LAN用)
- デマンド監視制御ソフト (WRS-DMD)
- リアルトレンドモニタ (WRS-RTM)
- 蓄積設定ツール (WRS-PMS)
- リアルタイムモニタ (WRS-MONH)

日報月報ソフト (WRS-REPO-CS) (クライアント用) 最大5台

- 日報月報ソフト (WRS-REPO-RS)
- 蓄積設定ツール (WRS-PMS)



データ蓄積（オプション）

蓄積メモリを内蔵すると指定したモジュールのデータを内部に蓄積できます。必要に応じてLAN経由またはRS-232C経由で上位のコンピュータと接続し、データを取り込みます。また、RS-232Cにはモデムを使用し公衆回線経由の接続も可能です。

1. 蓄積チャンネル数と蓄積可能日数

蓄積は対象となるチャンネル数と蓄積間隔により異なります。

チャンネル数は各モジュールの入力または出力チャンネルをあらわし、電力監視モジュールおよび電力監視マルチモジュールは、1電力要素が1チャンネルになります。

(1) 蓄積間隔を指定

(日)

チャンネル数	蓄積間隔							
	1分	5分	10分	30分	60分	120分	240分	
1	141	708	1416	4250	8500	17000	34000	
2	97	486	972	2916	5833	11666	23333	
4	66	333	666	2000	4000	8000	16000	
8	33	166	333	1000	2000	4000	8000	
16	20	100	200	600	1200	2400	4800	
32	10	50	100	300	600	1200	2400	
64	5	25	50	150	300	600	1200	
128	2	13	26	80	160	320	640	
256	1	6	13	40	80	160	320	

(2) 蓄積時刻を設定（1日1回）

チャンネル数	蓄積年数
1	
2	
4	
8	
16	
32	
64	19
128	10
256	5

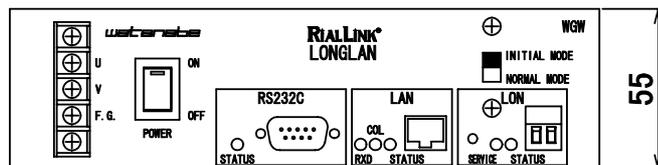
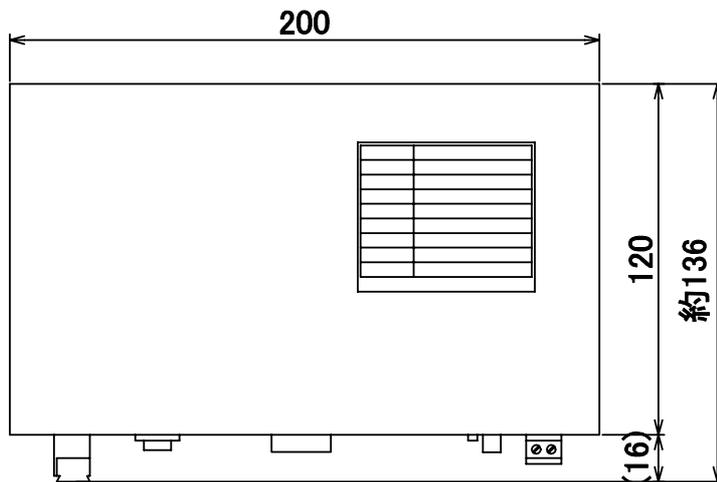
2. 最大蓄積可能件数

チャンネル数により蓄積できるデータの最大件数が決まっています。

チャンネル数	蓄積件数	チャンネル数	蓄積件数
1	204,000	32	14,400
2	140,000	64	7,200
4	96,000	128	3,840
8	48,000	256	1,920
16	28,800		

蓄積は、上記(1)(2)で規定した日数または年数に達しても最大蓄積件数に達するまで蓄積を続けます。

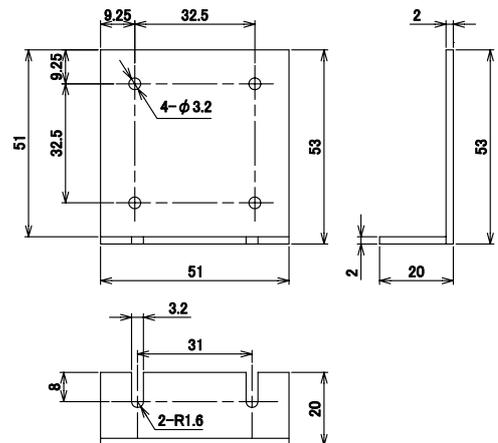
外形図



壁面取付用金具（別売品）WGW-BKT

2個1組で使用します。

この金具を使用し、壁面取り付け、盤面取り付け、据え置き、縦置きができます。



付属品
ゴム足4個